

授業科目

ジェンダーと人権

担当教員名 塚本 康子	対象学年	1	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	

授業の概要

この科目では、社会に根付いているジェンダーを理解し、ジェンダーを考える力を身につけ、他者や自分の人権を守る力を身につけることを目指します。そのためには、自己を見つめ、ディスカッションをとおして自己の意見を表現していく必要があります。

授業の目的

人をジェンダーの視点で理解し、ジェンダーに関わる人権について学ぶ。

学習目標

1. ジェンダー、セクシュアリティ、フェミニズム、人権などの概念を説明できる。
2. 家族関係におけるジェンダーと人権の問題について簡潔に説明できる。
3. 教育・学校生活におけるジェンダーと人権の問題について簡潔に説明できる。
4. 労働におけるジェンダーの問題について簡潔に説明できる。
5. 結婚におけるジェンダーの問題について説明できる。
6. 保健・医療・福祉におけるジェンダーの問題について説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ジェンダーの概念	講義	塚本 康子
2	家族関係とジェンダー	講義	塚本 康子
3	教育・学校生活とジェンダー	講義	塚本 康子
4	労働とジェンダー	講義	塚本 康子
5	結婚とジェンダー	講義	塚本 康子
6	保健、医療、福祉におけるジェンダー	講義・演習	塚本 康子
7	保険、医療、福祉におけるジェンダー	講義・演習	塚本 康子
8	ジェンダー論の歴史	講義	塚本 康子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	女性学・男性学－ジェンダー論入門	伊藤公雄 他	有斐閣	2005年		
	少子化のジェンダー分析	目黒依子、西岡八郎	勁草書房	2004年		
	初めて学ぶジェンダー論	伊田広行	大月書店	2004年		
	よくわかるジェンダー・スタディーズ	木村涼子、伊田久美子、熊安貴美江	ミネルヴァ書房	2013年		
その他の資料	その都度プリントを配布する。					

評価方法

レポート課題50%、課題ノート50%

履修上の留意点

文献を読み、考え、自らの考えをまとめていこう。
新聞や記事を読む習慣を身につけよう。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー 月・火曜日 12時半～13時

連絡先/メールアドレス tukamoto@nuhw.ac.jp 授業に対する質問はメールでお尋ね下さい。